

# 学習者の自己説明とAIの説明生成の共進化による 教育学習支援環境EXAITの研究開発

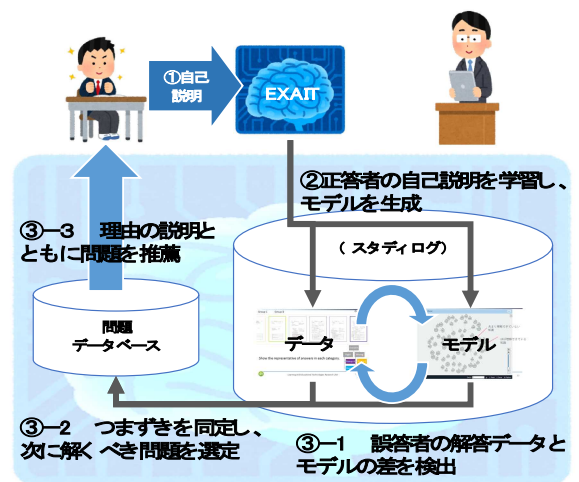
## 背景・狙い

- 近年、学校教育現場では、AIが解析して推薦した内容に学習者が納得できなければ、主体的な意欲を引き出せないという課題がある。
- 本研究では、単に問題が自動的に提示されるだけではなく、学習者がより納得して課題に取り組むために説明を生成する。

**キーワード** 学習支援システム、教育ビッグデータ、知的フィードバック

## 取組み内容

- AIエンジン「EXAIT」は、学習行動について「モデル駆動」と「データ駆動」の両面から開発を進める。
- 「モデル駆動」では、教材や知識マップをもとに学習者が解答プロセスについて自己説明を行うことで、次に学ぶべき事項や解くべき問題を理由とともに推薦する。
- 「データ駆動」では、推薦やダッシュボードの学習ログを蓄積し、学習ログからボトムアップに説明を生成する。
- そして、「データ駆動」と「モデル駆動」を融合することにより、児童生徒の学習プロセスを理解して説明を生成し、学ぶべき事項を推薦するAIを開発する。



## 想定されるアプリケーション

- 対象市場(公教育)の急速なICT環境整備
  - 文部科学省「GIGAスクール構想」にて児童・生徒一人一台
- コロナウイルス影響下での「学びの保障」ニーズの高まり
- ネットワーク高速化、クラウド経由でのサービス提供
- 学習記録データ等の根拠をもった個に応じた学びニーズの高まり
- 教育ビッグデータやAI技術を用いて教育支援のサービス
- 学習eポータル (LMS)の活用
- CBTの活用
- デジタル教科書の活用
- 教育データ標準の公表

研究開発テーマ名：「学習者の自己説明とAIの説明生成の共進化による  
教育学習支援環境EXAITの研究開発」

委託先・再委託先：国立大学法人 京都大学、株式会社 内田洋行

主要研究者： 緒方 広明 (京都大学)

WEBサイト：<https://www.let.media.kyoto-u.ac.jp>

